

## 千葉大学大学院看護学研究科 教育課程編成・実施の方針（博士前期課程）

「自由・自立の精神」を堅持するために

- ・ ナース・サイエンティストとして幅広く深い学識を修得させ、柔軟な思考力と深い洞察力、看護学と看護実践の往還を具現化する研究力、組織の課題解決に向けた問題解決能力、実践的検証を実施できる能力を育成する教育課程全般において、学修活動や研究活動に対して自己の判断・計画に基づく主体的な取り組みを促進する。
- ・ 自己の学識、思考や洞察の結果を、具体的な行動に移すことに関する実践的な学修の機会を提供する。

「地球規模的な視点からの社会とのかかわりあい」を持つために

- ・ 保健医療福祉システムの変化や社会や人々を多層な視座からとらえるための理論や概念、医療の高度化、多様化・国際化した看護についての幅広く深い学識が修得できるよう、留学をはじめとする多様な海外活動の機会を提供することも含めて教育課程を編成し、提供する。
- ・ 看護学において、高度な学術英語をはじめ、他の専門分野の人や様々な文化的背景の人と効果的にコミュニケーションを行えるようにするための英語による Academic Communication の学修機会を提供する。
- ・ 海外での活動をはじめ学外における長期の研究の際に継続的な学修・研究指導を受けられるよう、情報通信技術を活用した学修・研究指導の基盤を整備する。

「専門的な知識・技術・技能」を修得するために

- ・ 専門分野に関する深い学識を与えるための体系的な教育課程を提供するとともに、学識を問題解決に活用するための実践的考察や職場の課題解決のための情報活用や解決能力が修得できる機会を提供する。
- ・ 自己の専門分野と関連する他の専門分野との関係を理解するための学修の機会を提供する。
- ・ 知識集約型社会におけるイノベーションの創出に資する学修の機会を提供する。

「高い問題解決能力」を育成するために

- 看護実践に必要な諸理論、知識、方法を修得し、問題を解決する能力、並びに、国民のニーズと医療の高度化に対応して看護実践の場を改革し、検証する能力を涵養することのできる教育の機会を提供する。
- 他者と協調・協働することによる実践的課題解決能力を養うため、チーム参加型学修の機会を提供する。
- 問題解決の基礎となる汎用的能力を涵養するため、大学院共通教育等において、データサイエンスをはじめ高度な教養の学修機会を提供する。

#### 「学修成果の厳格な評価」のために

- 学修成果については、事前にシラバス等で提示する各授業目標への到達度によって、厳格かつ公正な評価を行う。授業科目の特性に応じて、以下のような適切な評価方法によって成績評価を行う。
- 講義科目では、試験、レポート、リアクションペーパー等でその達成度を評価する。
- 実験・実習・演習科目では、試験、レポート、口頭発表、実技等でその達成度を評価する。
- 学位論文は、審査基準と審査方法をあらかじめ明示し、それに基づき審査体制を整備したうえで、論文審査および最終試験を厳格かつ公正に行う。